

今の自分と現実を受け入れる

努力して結果が出ると自信になる 努力せずに結果が出ると傲り（おごり）になる
努力せずに結果も出ないと後悔が残る

努力して結果が出ないときにも経験が残り，生き方を考えるようになる

熱戦を繰り広げた市中総体が終わりました。ベストを尽くせた生徒，惜しくも敗退してしまった生徒，長町中学校だけではなく，全市の中学生がそれぞれの思いを抱きながらの3日間だったと思います。勝ち上がった部活動の皆さん，おめでとう。そして惜しくも結果に結びつかなかった部活動の皆さん，特に3年生にとっては，敗戦＝部活動からの引退という大会で，気持ちの整理がつかない生徒も多くいるのではないかと思います，本当にお疲れ様でした。1，2年生の皆さんは，この期間でどんな事を思ったのでしょうか。是非，この経験を次に生かしてほしいと思います。

私は，残念ながら，すべての競技を観戦することはできませんでしたが，皆さんの姿を見ながら思う事が多くありました。

劣勢を挽回して相手チームに追いついた場面，大接戦を演じた場面，リードしながら逆転されてしまった場面，圧倒的な強さで勝ち上がっていく場面，様々な姿を見せてもらいました。競技に参加している皆さんのレベルの高さに感動しました。そして，それと同じように，私が観戦した競技の部活動の生徒達は，技能だけでなく，いやそれ以上にあいさつや立ち振る舞いが立派でした。とてもうれしく思いました。特に負けてしまった後，悔しさに耐えながら，後片付けを率先して行っていた姿には，とても心打たれました。

人間が生きていく過程では，様々な他者との関わりがあります。その1つにスポーツがあります。勝って喜び，負けて悲しみ，その過程で一緒に悩んだり，涙を流したり，共感したりする。そしてスポーツマンシップを学び，マナーや礼儀も理解していく。考えてみると，私たちが生きていくということは，このような事の繰り返しなのかもしれません。ある部活動の生徒の保護者の方が先日，次のような話をしてくれました。「けがをして，息子を病院に連れて行ったら，看護師さん達に元気にあいさつができますねと褒められて，びっくりしました。部活動で培われたものだと感謝しています。」とてもうれしく思いました。皆さんが部活動で培ってきたものが人間形成に役立っているのだと実感します。

見出しの言葉は，私が大切にしてきた言葉です。皆さんはどう感じますか。努力して結果が出ると人間としてさらに成長しようとする糧になります。努力しないで結果が出たとき，その時は喜びがあっても，そのような事はきっと長続きはしないでしょう。努力しないで，結果も出ないとき，「あの時，もう少し頑張っていれば」と多くの人が後悔するでしょう。**努力したけれど，結果に結びつかなかった時，この状態は人間にとってすごく苦しい事です。必ずしも努力が結果に結びつかない場合もあります。しかしそこには，次のステップに進もうとする意欲や意志の強さ、人間を大きく成長させてくれる経験や自信が残り，生き方をしっかりと考えられる人間としての姿になって実ります。**勝ち上がった生徒，負けてしまった生徒，それぞれが自分を振り返り，その現実を受け入れて，次のステップに少しずつ進みましょう。本当にお疲れ様でした。